

平成26年度瑞穂区区政運営方針(案)に対するご意見及び対応について(ご意見14件)

区分	ご意見	ご意見への対応	所管
全般	区政運営方針(案)を読ませていただき、積極的な区政運営への意気込みが感じられ期待をしております。	基本目標の実現のため、4つの方針にそって取り組みを確実に実行してまいります。ご支援、ご協力をよろしくお願いたします。	企画経理室
1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます	史跡散策路マップについて、内容を拡大してウォーキングマップとしてはいかがでしょうか。(健康スポットやコース紹介、消費カロリーや健脚度も記載する等)	史跡散策路は史跡・文化財を巡り、歴史や文化を肌を感じていただく趣旨で実施しており、じっくりと散策することを楽しんでいただくコースとして考えております。また、健康増進事業としまして、区内3箇所のウォーキングコースを選定し健康づくりに適したウォーキングを勧めております。ウォーキングマップへの健康スポットの掲載等については、関係部署へ貴重なご意見としてあげさせていただきます。「なごやかウォーク事業」について、詳しくは名古屋市ウェブサイトよりご覧ください。今後とも、両事業へのご参加をお待ちしております。	まちづくり推進室
1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます	町内会・自治会への加入促進の支援の取り組みについて、現在の町内会規約が昔に作成されたもので不十分なため、見直しをしてより良いものにしたいため、町内会規約のひな形を作っていただきたいです。	規約の見直しについてお考えであるとのことですが、町内会規約のひな形はまちづくり推進室にございますので、各町内の個別の事情に合わせてご活用していただきたいと思ひます。	まちづくり推進室
1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます	町内会・自治会の担い手が高齢者になりがちであるため、若者が集まる青年会(20~40代)を創設することにより、新たな担い手を作ってはどうでしょうか。	町内会・自治会に若い世代を取り込み新たな担い手を育成していくことは大切なことであり、青年会の創設については大変有意義なご提案と考えますが、町内会は地域の方々が主体的につくりあげる住民自治組織ということから行政として青年会の創設は困難な現状がございます。町内会の中で自主的に創設についてご検討をお願いします。	まちづくり推進室
1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます	町内会の加入が任意であるため、学区の世帯数と町内会の加入世帯数に隔たりがあり困っている状況です。条例で加入を推進することはできないでしょうか。	町内会に加入していない世帯について、お困りであることは推察いたしております。行政としても災害時の避難体制の確保等憂慮しているところですが、町内会は地域の方々が主体的につくりあげる住民自治組織であります。加入促進については各町内会で取り組みをお願いしたいと考えています。なお、区役所には、加入促進用のパンフレットがございますのでご利用いただきたいと思ひます。	まちづくり推進室

<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>避難所など市政情報掲載の手段について、民間事業者（電力、通信など）と協定したらいかがでしょうか。設置費用と広告料を負担してもらい、地域の避難所の案内や防災・防犯などの啓発看板を設置し、平常時から意識高揚を図るような環境を作っていただきたいです。</p>	<p>民間事業者との連携・協力については、平常時、災害時ともに重要な課題であると考えております。今回いただいたご意見も含め、どのようなことができるかを検討してまいります。なお、現在名古屋市では、津波の影響が懸念される地域でコンビニ店舗の協力を得て、海拔表示のシールを貼り付けています。</p>	<p>総務課</p>
<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>大災害発生に備え、避難所（小学校）の見直し及び拡充をお願いします。また、専用防災倉庫の設置及び防災備品の拡充をお願いします。</p>	<p>現在、名古屋市では、区役所などの防災拠点や避難所について「どの施設から、何を、どの程度整備すべきか」の整備指針の策定に向け調査を進めております。今後、この指針に基づき、順次避難所等の整備を進めてまいります。また、災害救助用物資の備蓄についても、名古屋市の被害想定の見直しにあわせて、物資の数量や品目等の基本方針を定め具体的な検討をしてまいります。</p>	<p>総務課</p>
<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>大災害発生想定による、食料の確保、区内のコンビニやスーパー、ドラッグストア等との支援提携を推進してください。</p>	<p>名古屋市では災害時における応急救助物資の供給を確保するため、食糧・生活必需品の事業者団体等との物資供給協定の締結を推進しております。なお、大災害が発生した場合、行政による支援が行き届くまでに数日程度かかる可能性があります。そのため、各ご家庭で7日分程度（内3日分程度は非常持出用）の備蓄をお願いしております。</p>	<p>総務課</p>
<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>耐震化及び家具の固定の徹底を推進してください。備蓄は各世帯7日分でのいかどうかなどについても議論が必要だと思います。</p>	<p>昨年度末、名古屋市では南海トラフ巨大地震の被害想定を発表しました。その中で、耐震化や家具の固定をすることで、被害が大幅に軽減されるという結果が出されました。これらの対策は最重点課題のひとつと考えておりますので、啓発に努め、推進してまいります。また、大災害が発生した場合、行政による支援が行き届くまでに数日程度かかる可能性があります。そのため、各ご家庭で7日分程度（内3日分程度は非常持出用）の備蓄をお願いしております。</p>	<p>総務課・消防署</p>
<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>自転車の安全利用については、歩道又は側道利用を模索されていますが、遅々として進まない現状とされますので、大災害発生想定を考えて、川の整備及び専用自転車道路・専用歩道を立案していただきたく思います。</p>	<p>交通事故における自転車事故の割合が高いことは行政としても大変憂慮しています。歩道、側道などの利用及び整備については都市計画にかかわることですので関係機関にご意見をお伝えさせていただきます。まちづくり推進室では現在行っています自転車利用時の交通安全などについての啓発を引き続き行っていきますのでご理解をお願いします。</p>	<p>まちづくり推進室</p>

<p>2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます</p>	<p>愛知県は、交通事故11年連続全国ワーストワンと深刻な状況です。交差点の歩車分離を推進していただきたいと思ひます。</p>	<p>愛知県が交通事故全国ワーストワンであることは行政としても大変憂慮してひます。交差点の歩車分離については、警察などが所管となつてひますのでご意見について関係機関へお伝えさせていただきます。まちづくり推進室では現在行つてひます交差点での交通安全などについての啓発を引き続き行つてひますのでご理解をお願いします。</p>	<p>まちづくり推進室</p>
<p>3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます</p>	<p>民間の情報コンサルティング会社が自治体向けに無償提供してひるコンテンツを活用して、妊娠、出産、育児に関する行政サービス情報を集約したウェブサイトを立て上げてほしいと思ひます。(例：富士宮市での取り組み)母子健康手帳の交付時に専用のアクセスコードのついたリーフレットを配付し、ウェブと紙媒体で利用の普及を図つたらひかがでしようか。</p>	<p>民生子ども課において、子育て支援マップを冊子形式で作成してひましたが、今年度は区内の子育て支援団体とのネットワーク組織「さくらっこ♪」とともにウェブサイトの充実を図り、子育て支援マップも掲載してひます。また、保健所では、母子手帳交付時に様々なチラシやリーフレットをお渡しし、子育て情報の発信に努めてひるところです。ご提案のような取り組みを参考に、情報の充実をはかるとともに、QRコードの活用など、様々な媒体でウェブサイト等の案内に努めます。</p>	<p>民生子ども課・保健所</p>
<p>4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます</p>	<p>窓口と電話での対応に関する覆面調査を行つたらひかがでしようか。待合のスペースから職場環境や来客への対応を観察して点数化を行ひ、その結果、良い事例を区役所内で共有することでサービス向上に役立ててほしいです。</p>	<p>お客様満足度の向上を目指して、これまでも外部機関に委託した覆面調査を始め毎年いろいろな形で職員研修を行つてきたところす。今年度は、外部講師による窓口での接遇観察と個別アドバイスの研修により、区役所職員の接遇能力のより一層の向上に努めてひます。</p>	<p>総務課</p>
<p>4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます</p>	<p>役所の行政サービスを説明するウェブサイトや配布物について、もっと平易な言葉で記述してほしいです。専門用語の乱用はやめてください。特に外国人にも理解できるように配慮することが必要だと思ひます。</p>	<p>チラシやポスターといった印刷物から、区ホームページ、ツイッターやフェイスブックといった新しい情報媒体まで、さまざまな形で広報に努めてひました。また、区のマスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用するなどして、やさしい親しまれる広報にも努めてひます。今後とも、ウェブサイトや配布物などでの説明について、できるだけ専門用語の使用を避け平易な言葉やイラストなどを活用して、より一層わかりやすい広報をしてひます。また、外国人との共生社会を意識した分かりやすい広報や説明に努めます。</p>	<p>総務課・まちづくり推進室</p>